

別紙2 下描きの例



〈下描きの進め方〉

- ① 絵の大きさが小さくならないようにする。
→余白が広すぎると作品の印象が弱く見えてしまう。
- ② 立体感を意識し、明暗を描き込む。特に、形が重なっている部分の明暗をはっきりさせる。(ここがポイント!!)
→レリーフは、彫ることによって形を浮き立たせて形を見せる技法である。下描きの段階で浮き彫りのイメージができるとよい。



- ③ 輪郭線は、はっきりと描いておく。下描きの例のような輪郭線(ヒレの部分)は形が曖昧なので、はっきりと描こう。